



まちの話題



問 政策調整課：0869-22-1113

今月の表紙

cover photograph



5月4日、邑久町尻海で、尻海だんじりまつりが行われました。西町からは船形、市場町からは箱式、東町からは船形竜頭のだんじりが引き出され、しゃぎりや伊勢音頭に合せて、地区内を巡行しました。表紙の写真は、若宮八幡宮の石段下で3基が競うように練っている場面です。観客は、目の前で繰り広げられる迫力ある光景に見入っていました。まつりは2年に1回行われています。

華やかな法会を厳かに挙行 弘法寺の脚供養

5月5日、千手山弘法寺（牛窓町千手）で脚供養が行われました。尼僧となった中将姫を阿弥陀如来が聖衆とともに極楽浄土へ導くという中将姫の物語を劇化した行事です。

極楽浄土に見立てた遍明院を出た一行は、導師から中将姫の像が受け渡されると、僧侶、稚児などを従えて、阿弥陀如来像の待つ東壽院へ向けてゆっくりと練り歩きました。

弘法寺の脚供養は、聖衆の行道面を被った一行を胎内に人間が入った阿弥陀如来像（被仏）が出迎えるなど本来の姿をよくとどめており、日本三大脚供養の一つとされています。



練り歩く稚児ら（左下）／中将姫の像を手にゆっくりと進む表観音（右上）

境内がにぎやかな雰囲気になりました 大賀島権現祭



①練り歩くだんじりで境内はにぎやかに／②太鼓、かね、笛などの音のなか引き綱に力を込めます／③もち投げも行われました



稽古を重ねたしゃぎりを奉納する子どもたち

4月29日、大賀島寺（邑久町豊原）で恒例の権現祭が行われました。

豊安、仁生田、円張、邑久郷（岡山市）の4地区の法被姿の子どもたちが、日ごろから懸命に練習してきた伝統のしゃぎりを奉納しました。

午後からは各地区に伝わる箱式や船形竜頭などの4基のだんじりが約500メートル離れたお旅所を目指し練り歩きました。だんじりに乗り込んだ子どもたちは「ソーリヤ」の元気な掛け声に合わせ、太鼓やかねを響かせました。にぎやかな雰囲気の中、地区の皆さんや子どもたちが力を込めて引き綱を引き、だんじりは坂のある境内を勢いよく進みました。

だんじりに続いて壮大なみこしが登場し、威勢の良い担ぎ手とともに沿道をわかせました。

境内ではもち投げも行われ、観光客も交えてにぎやかな声に包まれました。

交通事故ゼロはみんなの願い 春の交通安全県民運動瀬戸内市出発式



①交通安全グッズを配布して啓発活動／②シートベルトの効果を実験／③サイレンを鳴らした後、白バイなどが街頭啓発へ出発

5月8日、出島公園（牛窓町牛窓）で春の交通安全県民運動の瀬戸内市出発式を開催しました。瀬戸内市交通安全母の会から瀬戸内市交通安全対策協議会へ手作りの交通安全グッズの贈呈などが行われた開会セレモニーを皮切りに、岡山県警察音楽隊の演奏やカラーガード隊員が加わったドリル演奏が行われました。

多くの家族連れらが集まった会場では、交通安全グッズや邑久ライオンズクラブによる死亡事故ゼロを願ったこんにやく餅が無料で配布されました。参加者は、交通安全体験車「おかやまふれ愛号」で運転・歩行能力の診断や夜間視認性の確認をしたり、シートベルトの大切さを実感していました。

子どもたちは、白バイに乗って記念撮影をしたり、警察囃子犬とのふれあいを楽しんでいました。また、市消防署のはしご車の前には試乗を待つ人の長い列ができました。

式の最後には、参加者が見送る中、白バイやパトカーなど10台が啓発活動のため出発しました。



警察囃子犬とふれあう子どもたち（左）／はしご車に試乗（右）